

スポーツと文化の 振興を通じて 健やかな成長を支援する

海老名市からオリンピック出場を 目指す小学生たちと一緒

市民の皆さまにおかれましては、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

一昨年、東京で2020年のオリンピックが開催されることになりました。5年後の開催に向け、全国各地で選手の育成が進められていますが、海老名市にも全国各地で優勝するなど、東京オリンピックへの出場が期待できる2人の小学生がいます。ともに大谷小学校に通う、長崎美柚さん（卓球）、郡司莉子さん（バドミントン）です。年頭にあたり、今回の新春座談会では、東京オリンピック出場の有力候補である小学生たちと語り合い、スポーツや文化の振興を通じて、子どもたちの健やかな成長を支援する市の将来について、イメージを広げていきたいと思っております。

平成27年 正月

海老名市長 内野 優



がんばって、
世界ランキングを
上げていきます。
ながさきみゆう
長崎美柚さん

中学生を相手に
練習しています。
ぐんじりこ
郡司莉子さん

東京オリンピック
に出場したら、
応援団長として
駆け付けますよ。
内野 優市長

市長 長崎美柚さん、郡司莉子さん、全国大会での優勝おめでとう。日本を制覇したお二人は海老名市の誇りです。今日は市民の皆さんに、お二人のことをもっと知ってほしいので、たくさん話していきます。まずは、それぞれが競技を始めたきっかけを教えてください。長崎さんはなぜ卓球を始めたの？

長崎さん 祖父と祖母が卓球をやっていました。最初は嫌々練習していましたが、卓球場の近くにゲームセンターがあって、「練習をしたら200円分遊んでいいよ」と言われて、それが楽しみで卓球の練習を続けるようになりました。

市長 何歳頃ですか？

長崎さん 本格的に始めたのは5歳の元日です。最初はボールを当てるのが精いっぱいでした。

市長 福原愛さんみたいだね。郡司さんはどうですか？

郡司さん 父がバドミントンをやっていたんです。まず、兄が始めて、おもしろそうだったので私も始めました。

市長 いつからですか？

郡司さん 幼稚園生の時です。

市長 2人とも本当に幼い頃から、がんばってきたんですね。卓球にしても、バドミントンにしても、スマッシュはとても早いんですね。昨年の11月、平成26年度の「海老名文化スポーツ賞」の贈呈式があり、お二人にもスポーツ大賞を

贈らせてもらいました。次に機会があれば、壇上に卓球台やコートを用意して、市民の皆さんにも実力を見てもらいたいですね。卓球ならちよつとできるから、対決してくれるかな。

長崎さん 分かりました(笑)。

1日6時間練習をしながら 勉強との両立も果たす

市長 今はどれくらい練習をしているんですか？

長崎さん 毎日練習をしています。平均で1日6時間です。

郡司さん 私と同じくらいですね。

市長 学校が終わったらそれぞれのクラブチームに行って、遅くまで練習しているんだね。郡司さん、練習は小学生同士でやるの？



▲優勝した大会のトロフィーを手に話が盛り上がる